

村民が快適に利用できる場所を目指して

計画案の10のポイント

「文教地区駐車場整備計画(案)」の概要を紹介します

村では、歴史と未来の交流館や中央公民館、文化センターなど文教エリア各施設への来訪者の安全性と利便性の向上を目指し、旧中央公民館の跡地と東海文化センターの駐車場を含めた一体的な共用駐車場を整備するための「文教地区駐車場整備計画(案)」をまとめました。

計画案の概要をお知らせしますので、村公式ホームページ(右QR(二次元コード)よりアクセス可)からご意見をお寄せください。



【問い合わせ】生涯学習課文化芸術・スポーツ推進担当(歴史と未来の交流館内 ☎287-0851)

計画策定の経緯

村立図書館や中央公民館、東海文化センターなどの社会教育施設が立地する本地区は村のほぼ中央に位置し、年間50万人もの利用があるエリアとなっています。昨年7月には新たに「歴史と未来の交流館」が開館し、これまで以上に多くの利用が予想されます。

【安全・安心に利用できる駐車場を目指します】

地区内にあった旧中央公民館は、すでに解体工事が完了し、その跡地は文教地区駐車場整備が完了するまでの暫定駐車場として利用しています。しかし、これまで東海文化センター駐車場の車両と歩行者動線が分かりにくいことや正面出入り口の危険性、イベント開催時の駐車場不足や利活用の不便さなど、さまざまな課題が指摘されてきました。このため、日常的に村民が安心して快適に利用できる、文教地区にふさわしい駐車場機能の充実が求められています。



【東海文化センター駐車場と暫定駐車場】

計画案の概要

計画の策定に当たっては基本方針を基に、役場の関係課で構成するワーキングチームで検討を重ね、関連団体や警察等との協議・調整を行い、意見や助言を得ながら、計画案をまとめてきました。

■整備基本方針

- ①交流館をはじめ各文教施設にアクセスしやすく安全で利用しやすい駐車場とします
- ②日常的かつイベント時に利活用できる憩いや賑わいのある空間をつくります
- ③文教エリア全体の人と車の動線やイベント等のレイアウトにも配慮した再整備とします
- ④暫定駐車場としての利用状況を踏まえた整備をします

■整備スケジュール

文教地区駐車場整備のスケジュールは下表をご覧ください。

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
駐車場整備	整備計画策定		基本設計	実施設計	整備工事	

▲歴史と未来の交流館オープン(令和3年7月24日)

■整備計画(案)の10のポイント

基本計画図を基に、整備計画(案)のポイントをご紹介します。

